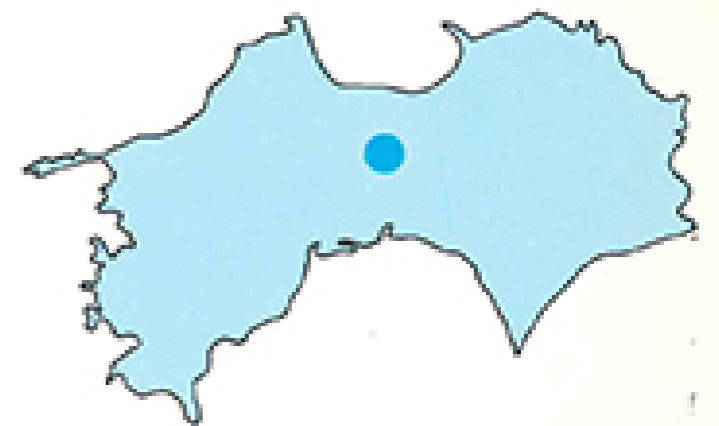


早明浦夕山

SAMEURA

1975

早明浦ダム写真集



ひとりきて ひとつ石をつんで
ふたりきて ふたつ石をつんで
そして10人になり 100人を超えた。
その人たちが競って石をつんだ。
つまれた石は職人によって整形された。
いつの間にか 白い巨大なしきりができた。
美しい自然の流れを
生活の流れへと変えた。
郷土の人々は 私たちを公団の人と呼んだ。
白い大きなしきりを早明浦ダムと呼んだ。
そして今、四国のいのちとして
3億トンの 水をたたえている。
(職員ノートより)



着手から

②

日本一の多目的ダム：

早明浦ダムは、12年の歳月と310億円余を費してこゝに完成した。四国地方総合開発計画のトップバッターとして、水資源開発公団が、四国三郎の名も高き轟れん坊を治める。

台風銀座の吉野川を洪水から救い、新たに開発された8億6千万トン余の水は、四国四県の農水・工水・都市用水として供給され、電力を生む。

しかし、この藩には、地域社会の発展と子孫の繁栄を願望してとはいえず、先祖伝来の愛憎尽きない故郷を離れていった352世帯もの人々の理解と辛勞と協力と、10名の尊い犠牲のあることを忘れてはなるまい。

そこには、豊富な資源の有効利用という理念のもとに、人と人とのドラマがあり、人と自然との斗いがあった。

今、いろんな角度からその歴史を振り返り明日への糧としたい。

そして語ろう！

そして祈ろう！

人々にその愛があるように

神々が永遠に、

それを見守るように！！



①

①早明浦ダム位置図

②完成航空写真







②

- ①②水没地
- ③周水供給計画表
- ④仮設備平面図